



かんたん操作ガイド

ビジネスプロジェクター

EB-755F EB-725Wi EB-750F EB-725W EB-735Fi



本書では、以下を説明しています。

- ・ 映像を投写して使い始めるまでの基本操作
- 基本操作に関するトラブルの対処方法



本機には以下のマニュアルが用意されています。 本機を安全に正しくお使いいただくために、マニュアルをよくお読みください。

PDF (ホームページからご覧ください)	冊子 (本機に同梱されています)
 ・取扱説明書 ・設置工事説明書 epson.jp/lcp/doc/ ・ ・<td> ・安全にお使いいただくために /サポートとサービスのご案内 ・オプション品および同梱品取扱説明書 ・かんたん操作ガイド(本書) </td>	 ・安全にお使いいただくために /サポートとサービスのご案内 ・オプション品および同梱品取扱説明書 ・かんたん操作ガイド(本書)



製品概要

本機はレーザー光源を使用した超短焦点プロジェクターです。 以下を参考に、お買い上げの製品の概要をご確認ください。

サイネージモデル(EB-755F/EB-750F)

美術館・ショールーム・店舗などでのデジタルサイネージ用 の映像を投写する、コンテンツ再生機能を搭載しています。 プレイリストに登録した写真や映像を投写したり、色や形の エフェクトを追加して投写したりできます。 コンテンツ再生モードで投写するまでの流れは「コンテンツ

再生モードで投写する(EB-755F/750F のみ)」34 ページを ご覧ください。



インタラクティブモデル(EB-735Fi/EB-725Wi)

投写面にペンや指で描画したり、投写面からコンピューターを操作したりする、インタラクティブ機能を搭載しています。 インタラクティブ機能の基本操作とトラブル対処方法は「インタ ラクティブ機能を使う(EB-735Fi/725Wiのみ)」23ページ以降 をご覧ください。

スタンダードモデル(EB-725W)

標準機能のみを搭載したスタンダードなモデルです。 書画カメラ等、さまざまな機器を接続できる豊富なインター フェースを備えています。



目次

製品概要2
同梱品4
設置する5
接続する6
投写する8
困ったときに12
インタラクティブ機能を使う(EB-735Fi/725Wi のみ)23
インタラクティブ機能で困ったときに(EB-735Fi/725Wiのみ)…29
コンテンツ再生モードで投写する(EB-755F/750F のみ)34
お問い合わせ先

同梱品



プロジェクター本体





リモコン +単3型乾電池



お客様情報
 +正式保証書発行カード
 返信用封筒

EB-735Fi/EB-725Wi/EB-725W のみ



EB-735Fi/EB-725Wi のみ



インタラクティブペン +単3型乾電池



USB ケーブル 約 5m



ペンスタンド



PenPlus for Epson 電子黒板 CD-ROM

4



電源コード

(日本国内専用)約4.5m

交換用ソフト ペン先(4 個)

交換用ハード ペン先(2個)



コーナー マーカー (4 個)



設置する

本機は以下の設置方法でお使いいただけます。

EB-735Fi/EB-725Wi でインタラクティブ機能を使う場合は、スクリーンの正面から投写するように 設置してください。

机に置く



水平で安定した机や床に置いてお使いく ださい。 机や床に置くときは、同梱のフット(2個) を取り付けます。



天井や壁に取り付ける / テーブルに取り付ける



オプションの金具または VESA 規格 (100 × 100mm) に準拠した金具で取り付け てください。 使用できるオプション品は取扱説明書を ご確認ください。

金具を使った取り付け工事には特別な技 術が必要です。取り付け工事は専門業者 にご依頼ください。



接続する

接続する機器に応じて、必要なケーブルを接続します。 接続についての詳細は、『取扱説明書』「プロジェクターを接続する」をご覧ください。



6





本機の電源を入れる



- 1 コンピューターを本機に接続します。
- 2 本機とコンセントを電源コードで接続します。
- 3 リモコンの電源ボタン【心】を押して、本機の電源を入れます。 「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーター(□)が青色に点滅します(ウォームアップ状態)。ウォームアップが終わると、ステータスインジケーター(□)が青色に点灯します。
- 4 コンピューターの電源を入れます。

ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。 映像が映らない場合は、「映像が写らない」14ページをご確認ください。

▲ 警告

- ・投写中は投写窓をのぞかないでください。
- ・必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行います。 また、接地接続を外すときは必ず、電源プラグを電源から外したあとに行ってください。

8

初期設定ウィザードを設定する

本機をお買い上げいただいて初めて電源を入れるときは、初期設定ウィザード画面が表示されます。

画面の指示に従って各設定を行ったら、ウィザードを終了してください。



本機の電源を切る

投写を終了するときは、リモコンの電源ボタン【ひ】を 2回押して本機の電源を切ります。 「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、ステータスイン ジケーター(□)が消灯します。



ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、よく使う機能を簡単に設定できます。 本体またはリモコンの【ホーム】ボタンを押すとホーム画面が表示されます。



電源ボタン:本機の電源を切ります。(EB-735Fi/EB-725Wiのみ)

2 ×ボタン:ホーム画面を終了します。(EB-735Fi/EB-725Wiのみ)

3 入力ソース

- ・現在の入力映像のプレビュー画面をサムネイル表示します。(EB-755F/EB-750Fでコンテンツ 再生モードをオンにしているときは表示されません。)
- 入力信号を検出すると、ソースの並び順が変わります(検出したソースが左上に表示されます)。
- ・現在投写している入力ソースの右上にチェックマークが付きます。
- ・有効な入力ソースが9つ以上あるときは、矢印を押すと次のページに移動します。
- ④ 現在の時刻:現在の時刻を表示します。
- 5 プロジェクター名、プロジェクターキーワード

本機のプロジェクター名と、Epson iProjectionでの投写に使用するプロジェクターキーワード を表示します。



入力ソースからの信号がない状態で本機の電源を入れたときは、自動的 にホーム画面が表示されます。



よく使う機能



困ったときに

本機を使用中に起こりうるトラブルと、その対処法について説明しています。 本書に記載のないトラブルが起きたときは、『取扱説明書』「困ったときに」をご覧ください。 トラブルが解決しないときは、裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。



電源が入らない、予期せず切れる



映像が写らない





詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

リモコンで操作できない





写っている映像がおかしい



- ・[映像調整]メニューの[シャープネス]を選択して、投写映像のシャープ感を調整します。
- コンピューターケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、トラッキングと同期の設定を最適化します。



映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、[ト ラッキング] と[同期] を設定します。

- ・本機の投写窓を掃除します。詳しくは『取扱説明書』「投写窓を清掃する」をご覧ください。
- コンピューターの映像を投写しているときは、本機の対応解像度に合わせて解像度を変更します。



写っている映像がおかしい



20

ポイント補正機能:部分的に発生するゆがみを補正します。



インジケーターの見方

インジケーターは、本機の状態をお知らせします。 以下の表でインジケーターの色と状態を確認し、 必要な対処を行ってください。 無線 LAN インジケーター(今)の見方に ついては、『取扱説明書』「インジケーターの見方」 をご覧ください。

■ 正常動作時のインジケーターの状態

スタンバイ中	ウォームアップ中 / シャットダウン中 / クールダウン中	投写中	リフレッシュモード
On/Standby 🕐 🗖	On/Standby 🕐 🗖	On/Standby 🕐 🗖	On/Standby 💍 🗖
Status 🗔 🖸	Status 🔍	Status 🗔 🗖	Status 🔍
Laser 米 🖸	Laser 米 🛛	Laser \star 🛛	Laser \star 🗖
Temp 🌡 🖸	Temp 🌡 🖸	Temp 🌡 🖸	Temp 📱 🗖
電源ボタン【ひ】を押 すと投写を開始します。	電源ボタン【()を押 しても反応しません (約 30 秒)。	通常動作中です。	リフレッシュモード が進行中です。

■ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

レーザー異常	レーザー警告	障害物検知異常	
On/Standby 🕐 ဝ	On/Standby	On/Standby 💍 O	
Status 📮	Status 🗔 🔘	Status 📼	
Laser \star 🔵	Laser \star 🙀	Laser \star 🗨	
Temp 🌡 O	Temp 🌡 🖸	Temp 🌡 🔵	
ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お 買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡 先に修理を依頼してください。		投写窓付近に障害物がないか確認しま す。障害物を取り除いてから、プロジェ クターの電源を入れ直してください。	

内部異常	ファン / センサー異常	高温警告	内部高温異常
On/Standby 🕐 🖸	On/Standby 🕐 🖸	On/Standby	On/Standby 🕐 O
Status 📼	Status 📮	Status 🗔 🔘	Status 📼
Laser \star 🐱	Laser \star O	Laser \star 🛛	Laser \star O
Temp 🌡 O	Temp 🌡 📩	Temp	Temp 🌡 🔵
電源プラグをコンセントから抜き、お買 い上げの販売店または裏表紙に記載の連 絡先へご相談ください。		 ・障害物や壁などで吸排 気口がふさがれていな いか確認します。 ・エアフィルターの清掃 または交換をします。 	電源を切った状態で5分 間待ち、温度を下げます。

上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売 店または裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

22

インタラクティブ機能を使う (EB-735Fi/725Wi のみ)

インタラクティブ機能では、3つのモードが使えます。



ホワイトボードモード

ホワイトボードのような無地の投写画面に描画できま す。会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利 です。

➡「ホワイトボード画面に描画する(ホワイトボードモード)」26ページ



アノテーションモード

コンピューターなどから投写した資料に注釈を書き込め ます。資料のポイントや補足を書き込んで、効果的なプ レゼンテーションができます。

➡「投写した資料に描画する(アノテーションモード)」27ページ



マウス操作

投写画面でコンピューターを操作できます。コンピュー ターのマウスと同じように、クリックやドラッグ&ド ロップなどができます。

➡「投写した画面からコンピューターを操作 する(マウス操作)」28ページ

インタラクティブペンを使って操作する

インタラクティブペンは2種類あり、ペン後方部のラベルの色が異なります(オレンジ と青)。ラベルの色が異なるペンは、2本同時に使用できます。 ペンを持つと電源が入ります。ペンを使い終わったら、投写画面から離れた場所に置い てください。

お使いになる前に電池(1本)をセットしてください。 交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

- ・単3形マンガン乾電池
- ・単3形アルカリ乾電池
- eneloop® ※ (BK-3MCC)

※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。



1 ペン先

交換できるソフトペン先です。

投写面の材質などにより、ソフトペン先が使いづらいときはハードペン先に交換してください。

2 バッテリーインジケーター

ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。

- ・青色に点灯:電池残量は十分です。
- ・ 青色に 点滅: 電池残量が少なくなってきています。
- ・点灯しない:電池残量がありません。電池を交換してください。

3 ボタン

[インタラクティブ] メニューの [ペンボタン動作] で設定した機能を実行します。 マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。 ペンを置くと15秒後に自動的に電源が切れます。ペンを持つと再び電源が入ります。
 ペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。ペンが動作しないことがあります。次のようにペンを持ちます。
 ・同梱のペンスタンドにペンを置くときは、ペンの誤動作を防ぐため、ペン先を下に向けて置いてください。

お買い上げ時は、両方のペンにソフトペン先が取り付けられています。

・ソフトペン先が汚れたり傷ついたりすると、インタラクティブペンの反応が悪くなります。新し いソフトペン先と交換してください。



・投写画面によってソフトペン先が使いづらいときは、ハードペン先と交換してください。



指を使って操作する

インタラクティブペンと同じように、指を使って投写画面への描画やマウス操作ができ ます。指を使って操作するときは、オプションのタッチユニットを設置してください。 タッチユニットの設置方法は『設置工事説明書』をご覧ください。



ホワイトボード画面に描画する(ホワイトボードモード)

ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上に インタラクティブペンまたは指を使って文字や図形を自由に描写できます。

- 本機の電源を入れて、映像を投写します。
- リモコンの【ホーム】ボタンを押します。
- ③ [ホワイトボード] を選択します。 ホワイトボード画面とツールバーが表示されます。
- 4 インタラクティブペンや指を使って投写画面に書き込みができます。



A	ペンの種類や線幅、図形を 選択します。	ß	表示中の画面を保存します (事前に [インタラクティブ] メニューの [保存] で設定が 必要です)。
◎ ● ● ● ● ●	色を選択します。	证	表示中のページの描画をすべ て削除します。
\Diamond	描画した内容を消去します (消しゴム)。消しゴムの大 きさを選択します。		

上記はツールバーを使ってできる操作の一例です。すべての機能について、詳しくは『取扱説 明書』「ホワイトボードモードのツールバー」をご覧ください。 投写した資料に描画する(アノテーションモード)

アノテーションモードでは、投写した資料にインタラクティブペンまたは指を使って文 字や図形を自由に描画できます。

事前に [インタラクティブ] メニューの [描画機能を利用する] を [オン] に設定して ください。

1 接続機器から映像を投写します。

ツールバーが表示されます。



2 インタラクティブペンや指を使って投写画面に書き込みができます。



A	ペンの種類や線幅、図形を 選択します。	6	表示中の画面を保存します (事前に [インタラクティブ] メニューの [保存] で設定が 必要です)。
	色を選択します。	竝	表示中のページの描画をすべ て削除します。
\Diamond	描画した内容を消去します (消しゴム)。消しゴムの大 きさを選択します。	ŗ	ホワイトボード画面を表示し ます(画面を2画面または4画 面に分割しているときは使用 できません)。

上記はツールバーを使ってできる操作の一例です。すべての機能について、詳しくは『取扱説 明書』「アノテーションモードのツールバー」をご覧ください。 投写した画面からコンピューターを操作する(マウス操作)

マウス操作機能を使って、投写画面上からコンピューターを操作できます。



Mac をお使いの場合は、Easy Interactive Driver をインストールする必要があり ます。詳しくは『取扱説明書』「Easy Interactive Driver をインストールする(Mac のみ)」をご覧ください。

USBケーブルを使用してプロジェクターとコンピューターを接続します。



- 本機の電源を入れます。
- 3 コンピューターの画面を投写します。
- 4 お使いの環境に合わせて、次のいずれかを選択します。
 接続しているコンピューターのOSに合わせて、[ペン/指タッチ] メニューの [PC操作] で [ペン座標検出モード] を設定します。
 Windows/Mac: 「ペンモード] を選択します。

Windows/Mac・[パンモート]を選択します。 Ubuntu:[マウスモード]を選択します。



2本のインタラクティブペンを同時に使用すると、ご使用のアプリケーション ソフトによっては干渉を引き起こすことがあります。インタラクティブペン を投写画面から遠ざけてください。

5 ツールバーで [PC操作] をオンにして機能を有効にします。



インタラクティブペンや指を使って次のマウス操作ができます。

- ・クリック:投写面にペン先を押し当ててすぐに離します。
- ・ダブルクリック:投写面にペン先を2回押し当てます。
- ・右クリック:ペン側面のボタンを押します。
- ドラッグ&ドロップ:移動したいアイコン等の上にペン先を押し当て、投写面に接した状態のまま移動して、移動先でペン先を離します。

インタラクティブ機能で困ったときに (EB-735Fi/725Wiのみ)



投写画面からコンピューターを操作 できない

以下のときにご覧ください。

- ・マウス操作がうまく反応しない
- ・ 意図した操作ができない
- ➡「投写画面からコンピューターをうまく操作できない」31ページ



指タッチ操作がうまくできない

以下のときにご覧ください。

- ・指タッチ操作がうまく反応しない
- ・指で描画またはマウス操作する位置がずれる
- ➡「指タッチ操作がうまくできない」32ページ



インタラクティブペンがうまく使えない



投写画面からコンピューターをうまく操作できない



指タッチ操作がうまくできない



コンテンツ再生モードで投写する (EB-755F/750Fのみ)

本書では、コンテンツ再生モードで投写するまでの流れを説明します。 より詳しい手順や設定方法は『取扱説明書』「コンテンツ再生モードで投写する」をご覧くだ さい。



再生するコンテンツを作成する

再生するコンテンツは、以下のいずれかの方法で作成します。



コンピューター向けアプリケーションで作成する

Epson Projector Content Manager を使います。写真や動画を使ってプレイリ ストを作成して、USB メモリーに保存できます。 以下の Web サイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download

アプリケーションの使い方は『Epson Projector Content Manager 操作ガイド』 をご覧ください。



Web ブラウザーを使って作成する

Epson Web Control を使います。作成したプレイリストは、プロジェクターに 接続されている USB メモリーに、ネットワーク経由で直接保存できます。 詳しくは『取扱説明書』「Epson Web Control を使ってプレイリストを作成する」 をご覧ください。



iOS のモバイルデバイス向けアプリケーションで作成する

Epson Creative Projection を使います。豊富なテンプレートを使って簡単にオ リジナルコンテンツを作成できます。

App Store からダウンロードしてください。App Store へ接続する際の通信料 はお客様の負担となります。



コンテンツを投写する

1 本機のUSB-A端子に、USBメモリーを接続します。



必要に応じて、作成したコンテンツをあらかじめUSBメモリーに保存してください。

- 本機の電源を入れます。
- 3 リモコンの【USB】ボタンを押します。



コンテンツの再生が始まります。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp (22-84) エブノンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとして掲載しております。ぜひご活用ください。 FAQ epson.jp/faq/ 各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエブソンのウェブサイトです。 ●製品に関するご質問・ご相談先(プロジェクターインフォメーションセンター) 製品の操作方法・お取扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。 050-3155-7010 ◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。 ●修理品送付・持ち込み依頼先 お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。 拠点名 雷話番号 所 在 tth 011-805-2886 札幌修理センター 〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株) 松本修理センター 〒390-0863 松本市白板2-4-14 エブソンサービス(株) 050-3155-7110 鳥取修理センター 〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株) 050-3155-7140 沖縄修理センター 〒900-0027 那覇市山下町5-21 グリーンビル山下町2F エプソンサービス(株) 098-852-1420 *修理について詳しくは、エプソンのウェブサイト epson.jp/support/ でご確認ください。 ◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。 ・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202 ●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先 引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、 修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。 050-3155-7150 ◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。 *引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エブソンのウェブサイト epson.jp/support/ でご確認ください。 ●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンサービスコールセンター) 050-3155-8600 ◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。 ●ショールーム 詳細はウェブサイト epson.jp/showroom/ でご確認ください。 MyEPSON エブノン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エブソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にビッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。 カンタンな質問に答えて インターネットでアクセス! myepson.ip/ 会員登録。 消耗品のご購入 お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(epson.jp/shop/または通話料無料 0120-545-101) でお買い求めください。 上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。 上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください ますようお願いいたします。 本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 最新の情報はエブソンのウェブサイト(epson.jp/support/)にてご確認ください。 エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階 セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 液晶プロジェクター(B) 2019.06